

学校教育目標	確かな学力を身につけ、心豊かでたくましく、主体的に生きる生徒の育成 「学んでよかった」～ 学びたい・学ばせたい学校 ～	経営理念	家庭・地域との信頼関係を基盤とし、地域へ感謝し、地域の一員としての自覚と誇りをもち、これからの時代を担う生徒の育成
--------	--	------	---

評価計画						自己評価					学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)		改善方策	
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
							10月	2月						
学習指導	1	「基礎・基本」の確実な定着と授業改善の推進を図る	○基礎・基本の確実な定着	帯タイム、タブレットを活用したドリル学習の充実	習熟度テストで正答率30%以下の生徒:15%以下	15	12	9	100	4	1年生6% 2年生4% 3年生16%	A	取組の成果が出ていてうれしい。	引き続き帯タイム、タブレットを活用したドリル学習の充実を促進する。
			○「主体的で深い学び」の授業改善の実施	単元別テストの実施	家庭学習が習慣化した生徒:80%以上	80	57	67	78	3	単元テストに向けて計画的に学習している 1年66% 2年70% 3年88% 平日に家庭学習を1時間以上している生徒 1年48% 2年54% 3年96% 昨年度より学習時間が増えた(保護者)76%	A	生活ノートを工夫し、計画を立てさせることはとても良い。	1・2年生の家庭学習がまだ習慣化していない。生活ノートの様式を変更し、単元テストに向けて学習計画表を作らせるなどの手立てが必要である。
			○ICTを活用した授業改善	ICTを活用した授業の実施 生徒アンケートの実施	授業がよくわかると感じる生徒:90%以上	90	91	90	100	4	1年89% 2年89% 3年92% 生徒アンケート実施	A	入試の自己表現でタブレットを活用するなど、成果が上がっている。	各教科等で効果的なICTの使用を工夫していく。
			○体力運動能力の向上	部活動及び体育的行事の活性化	新体力テスト県平均以上の種目数:8種目中6種目以上	70		69	99	3	男子:8種目中5種目達成 女子:8種目中6種目達成	A	体力づくりのみならず、食育も体力運動能力の向上に生かされている。	引き続き部活動や体育の補助運動、駅伝・ロードレース大会などの取組を活用して体力を向上させる
生徒指導	2	規範意識の向上と地域と共に育つ感性豊かな生徒の育成	○生活指導の徹底	「安芸津中生徒めざす姿四訓」の定着の徹底	達成している生徒:90%以上	90	90	91	100	3	挨拶 1年93% 2年86% 3年96% 返事 1年86% 2年73% 3年94% 言葉 1年89% 2年91% 3年98% 環境 1年91% 2年88% 3年100%	A	あいさつがしっかりとできており、気持ちが明るくなる。	ほぼ達成している。引き続き生徒会を中心としたあいさつ運動などの取組を進めていく。
			○教育相談の充実	各学期に1回以上、個人面談を実施 生活アンケートの実施	学校が楽しいと感じる生徒:90%以上	90	79	73	76	2	1年66% 2年63% 3年88% 個人面談実施 生活アンケート実施	B	楽しく学校へ行くことができるよう、引き続き人間関係作りにか力を入れてほしい。	S.C.やSSW、心のサポーター等の人材を活用して教育相談を進めていく。ソーシャルスキルトレーニングを実施している。
			○生徒会活動と緑化活動の活性化	生徒の活動する場面の設定(三大行事・緑化活動)	生徒の行事満足度:95%以上	97	98	98	100	4	1年96% 2年98% 3年100%	A	3大行事は充実している。年中花が絶えないよう緑化活動も充実しており、教育環境が整っている。	後期の残り2大行事も充実をさせた。緑化活動は水やり当番などの役割を意識させるなどして継続的に取り組む。
			○地域貢献活動・防災教育の充実	総合的な学習の時間の充実と情報発信(各学期1回以上の地域貢献、防災学習の実施)	生徒の資源回収やボランティア活動への活動率:80%以上	80	80	81	100	4	1年77% 2年72% 3年92%	A	安芸津フェスティバルのボランティア参加など、地域と密接にかかわる取組を進めている。	安芸津フェスティバルのボランティアに積極的に関わった。防火避難訓練を実施した。
信頼される学校	3	情報公開と地域に信頼される開かれた学校づくり	○情報発信	学校だより等の月1回以上配布とHPの計画的な更新月平均2回以上	学校の様子がよく分かると感じる保護者:90%以上	90	90	88	99	3	88%	A	学校だより、HP、メール配信など、積極的に情報発信をしている。	引き続き、学校だより等の月1回以上配布とHPの計画的な更新月平均2回以上を実施する。また、市民ポータルサイトを活用して伝達をする。
			○信頼される教職員	管理及び服務研修の実施	服務研修年間8回以上	100	86	100	100	4	後期9回実施	A	計画的に服務研修を実施している。	資料やロールプレーなどの手法を用いて実施した。新聞やネットニュース等の記事を活用していく。
			○働き方改革	学校組織の適正化と分掌等役割配分の適正化	年間の勤務時間外の月平均在校時間が前年度より減少した教職員:100%	100	95	100	100	3	10月55時間 11月47時間 12月38時間 1月39時間 2月45時間 80時間越10月4人 11月4人 12月0人 1月2人 2月4人	B	全体的には勤務時間の縮減の成果が出ている。全員が目標時間を達成するためにはチームワークが必要である。	後期平均45時間であった。全体的に減少傾向にある。一方、80時間を超える教職員も依然としているので、声掛けや仕事の精選などを実施する。
			○小中連携の充実	年間4回の会議、1回の合同研修会の開催、美術科授業交流、体験入学の実施	卒業時に安芸津町の学校で学んでよかったと答えた生徒:90%以上	90	92	89	99	4	1年90% 2年94% 3年92%	A	小中連携の会議、研修会の開催、授業交流の実施や中学校から小学校への情報発信に積極的に取り組んでいる。	会議は計画通り実施している。美術科授業交流を通して小中の連携が促進された。小学生に紹介動画を見せたりアンケートをとったりしてギャップを埋める取り組みを実施した。

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価  
 4...目標を上回って達成      3...目標どおりに達成  
 2...目標をやや下回って達成      1...目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)  
 A...とても適切である      B...概ね適切である  
 C...あまり適切でない      D...全く適切でない  
 (N...判定できない)